

～高等学校における日本語指導・体制整備に関する対面研修 第2回
北陸における高等学校の日本語指導の充実に向けた取り組み～
2023年9月15日(金)敬和学園高等学校



敬和学園高等学校における 日本語指導 外国ルーツ生徒の支援体制

私立敬和学園高等学校
白杵 由美子

内容

1. 概要
2. 受入状況
3. 取り出し
4. 教科目標・指導内容
5. 教科設定科目

1. 概要① - 私立敬和学園高等学校 -



- ・開校：1968年
- ・課程：全日制 普通科（男女共学）
- ・定員：1学年 200名
- ・所在地：新潟市北区太夫浜325
- ・寮：男子寮・女子寮
- ・教職員：90名

1. 概要② - 教育理念 -

建学の精神「敬神愛人」

キリスト教に基づく人格教育
全人教育を行う

- ・個人の尊重
- ・国際的視野に立つ教育
- ・労作教育
- ・少人数教育
- ・寮教育



2. 受入れ状況

◆日本語指導を必要とする生徒(2023年度)

1年	1人 (フィリピン)
2年	4人 (ネパール、パキスタン、アメリカ、ドイツ)
3年	4人 (ネパール、ロシア、アメリカ、タイ)
計	9人

3. 体制 取り出し

	正規生	留学生・ (体験入学生)
受入期間	3年間	1年間・(各期間)
取出し教科	国語科	国語科・他
取出し先教室	教務室内会議室	教務室内会議室
内容	・日本語学習 ・教科学習	日本語学習
生徒数	6名	3名

4. 教科目標 - 目標 -

敬和学園高校で充実した 学園生活を送れるようにする

言語と文化の違いを大切に、
生徒一人ひとりに学ぶ力と学び続ける意欲が
備えられるように

1. 生活に必要な言葉を学び、充実した
学校生活を送れるようにする
2. 教科学習につながる日本語を学び、
それぞれの進路につなげるようにする



生徒及び教員からの反応

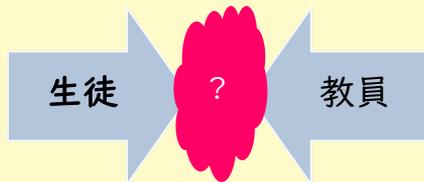
【生徒】

「授業で先生が言っていること、**わからない**・・・」
「教科書の言葉が**読めない**・・・」
「先生や先輩に話す時のことばが友だちと**同じじゃない**・・・」
「友だちの輪に**入れない**・・・」

【教員】

「友だちとは楽しく話しているのに、授業になると**寝ていることがある**」
「話していることや指示が通っているか**心配**・・・」

一人ひとりの理解に向けて…



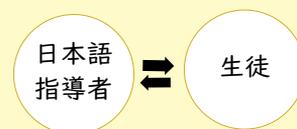
①. 支援環境

②. 日本語指導内容

①. 支援環境

①支援環境-その1

日本語取出し環境の見直し



①支援環境-その2

連携 - 「つながり」 - (学校内)



①支援環境-その3-

連携 - 「つながり」 - (学校外)

■ 生徒

- 1) 同一法人 敬和学園大学との交流
- 2) 外部団体による学習支援教室参加・ボランティア
- 3) 他校との学習発表会による交流 など・・・

■ 日本語指導担当

大学・外部の組織や団体、学校とのつながり

①支援環境-その4

支援環境を見直した結果

- ・ 環境整備
⇒ 居場所づくり、連携の拡大
- ・ ことばと成長発達
⇒ 「他者」との関わり

②. 日本語指導内容

②日本語指導内容-その1

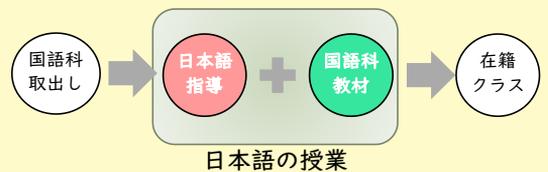
高校生を対象にした指導方法

高校生の日本語教育について
指導法が見つからない

手探りで試行錯誤を繰り返す

②日本語指導内容-その2

これまでの取組み



②日本語指導内容-その3
これまでの内容をふまえて



②日本語指導内容-その4
指導内容を見直した結果



- ・わかる →やる気・態度
- ・知りたい →意欲・関心
- ・理解したい→学力・思考力

二つの視点を見直した結果



学校生活において



- 生活(生活言語)
- 授業(学習言語)
- 文化間の差異 など

3. 取出し - 科目 -



4. 教科目標② - 3年間の目標 -



4. 教科目標② - 各学年の目標 -

1年 学校生活への適応	2年 自発的に学ぶ力を養う	3年 進路実現へ
生活言語の習得	日本語運用能力の向上をはかる	進路実現に必要な日本語能力の向上
日本語で教科学習を学ぶ力をつける	日本語で教科学習を学ぶ力をつける	日本語で教科学習を学ぶ力をつける

5. 学校設定科目 「日本語Ⅰ および 日本語Ⅱ」開講

日本語Ⅰ	日本語Ⅱ
対象：2年生	対象：3年生
内容：基礎的日本語の定着 運用能力向上・発展	内容：進路対策及び 検定対策など

5. 教科設定科目 - 日本語科3年間の学び -



6. おわりに



ご清聴ありがとうございました。

ご意見などありましたら、ぜひお聞かせ下さい。
敬和学園高校 臼村由美子

